

静御前の墓



場所 埼玉県久喜市栗橋中央1丁目2番

アクセス JR宇都宮線、東武日光線

「栗橋駅」東口下車徒歩1分



概要 源義経の内妻であった静御前の墓と伝えられている。

静御前は、義経を追って奥州に向かう途中、義経の死を知り、文治5年（1189）9月15日に当地で亡くなったと言われている。当地には高柳寺（こうりょうじ）と呼ばれる寺があったので、静御前は寺の境内に埋葬され、墓上には杉の木が植えられた。

高柳寺はその後、中田（現在の茨城県古河市）に移転し、光子寺と名を改めている。

当地には静御前の墓が残されたが、墓標がなかったため享和3年（1803）に勘定奉行・関東郡代であった中川飛騨守忠英により建立された。墓上の杉の木は弘化3年（1846）の洪水により枯れてしまい、その後銀杏が植えられている。

問合せ 久喜市文化財保護課
(電話) 0480-22-5555

自然拠点

文化拠点

景観 生物 地物・現象 公園 史跡 行事 産業・伝統 食 交流・学習